

令和2年度

学生募集要項 (帰国子女特別選抜) 入学案内

(出願書類添付)



区分	出願期間	選抜期日	合格発表
帰国子女 特別選抜	令和2年1月20日(月) ~1月24日(金) (出願資格照会期限 令和元年12月19日(木))	2月16日(日)	3月3日(火)

独立行政法人国立高等専門学校機構
徳山工業高等専門学校
〒745-8585 山口県周南市学園台
電話 (0834) 29-6233 (学生課)
FAX (0834) 29-6161 (学生課)

I. 選抜の基本方針

入学者選抜の基本方針（アドミッションポリシー）は、本校の学習・教育目標（世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす）を達成できる能力を持った学生を入学させることです。具体的には次のような人を求めています。

- ・数学と理科の基礎学力が身につけている人
- ・信頼される技術者を目指し、コミュニケーション能力の基礎を身につけている人
- ・勉学や課外活動などに意欲を持って取り組んでいる人
- ・ものづくりが好きで、社会の発展に役立ちたいと考えている人

また、本選抜においては、筆記試験で、国語、英語、数学、理科の4科目を実施し、数学と理科の基礎学力が身につけているかを評価するため、他の教科に比べ、数学を2倍、理科を1.5倍に換算します。また、他の教科では主に十分なコミュニケーション能力を身につけているかを評価します。さらに一般面接（意欲、ものづくりが好きで社会の発展に役立ちたいと考えているか、信頼される技術者を狙っているかを評価）を行い、本校への適性を有すると判断した人を選抜します。

II. 募集人員

学科名	募集人員
機械電気工学科	若干人
情報電子工学科	若干人
土木建築工学科	若干人

III. 選抜の方法

区分	選抜方法
帰国子女特別選抜	学力検査の成績、面接及び学校長から提出された調査書を総合して行います。学力検査は、国語、数学、理科及び英語の4教科で、各教科100点、計400点満点で採点したものを、数学を2倍、理科を1.5倍に換算し、合計550点満点とします。学力検査の解答はマークシート方式です。 HB黒鉛筆でのみ 記入してください。

IV. 出願資格

1. 出願資格

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等に伴って外国において教育を受けた者（海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して2年以上の者で、平成30年4月以降の帰国者）で、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 中学校、義務教育学校を卒業又は令和2年3月に卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校前期課程及び文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了又は令和2年3月に修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における9年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を卒業（修了）又は令和2年3月に卒業（修了）見込みの者

2. 資格照会

入学を志願する者は、出願資格等を確認するので、**必ず令和元年12月19日（木）までに**本校学生課に、電子メール（kyoumu@tokuyama.ac.jp）又は郵便により照会してください。その際、1. 出願資格のいずれに該当するのか、外国の中学校等の名称、在学期間をお知らせください。

V. 出願手続

1. 出願期間

区分	出願期間	受付時間	留意事項
帰国子女特別選抜	令和2年1月20日（月） ～1月24日（金） （但し、「IV 2. 資格照会」を経ること。）	土日祝日を除く 9:00～16:30	（郵送の場合） 1) 期間内必着とする。 2) 国内の場合は簡易書留とし、国外の場合はEMS（国際スピード郵便）とする。 3) 封筒の表面に「帰国子女特別選抜願書」と朱書する。

2. 提出先

徳山工業高等専門学校学生課教務係
〒745-8585 山口県周南市学園台 TEL0834-29-6233

3. 出願手続及び出願書類

電子媒体様式を、本校ウェブサイトよりダウンロードし、出身学校で取りまとめて提出してください。受検票送付用封筒は不要です。

出願書類	留意事項
① 入学願書・ 写真票・ 受検票	出願者が必要事項を記入してください。 出願後の志望学科の変更は認めません。 写真票に貼る写真は、出願前3か月以内に撮影したタテ5cmヨコ4.5cmカラー写真とし、無背景・無帽かつ正面上半身のものとし、 受検票は志願者の現住所に送付します。2月12日（水）までに受検票が届かない場合は、提出先まで問い合わせてください（受検票の送付と行き違いにならないよう、帰国時期にご注意ください。）。
② 調査書※ ¹ ※ ²	在籍（出身）学校長が必要事項を記入してください。 「IV 1. 出願資格(3)」に該当する者は、当該学校が発行する成績証明書及び卒業（修了）証明書又は同見込証明書を提出してください。この際、成績証明書には100点法との対応表を添付してください。 卒業見込みの者にあつては、第3学年の第2学期までの記録に基づき記入してください。 様式裏面の「記入上の注意」を確認してください。 中学校卒業後一定の期間を経過し、出身中学校長が調査書を発行できない場合は、令和元年11月29日（金）までに、提出先にご連絡ください。
③ 海外在住状 況説明書	出願者が必要事項を記入してください。
④ 検定料※ ²	16,500円を 次の口座に振り込み、「振込金受取書」を「①入学願書」の裏面に貼付してください。 振込先銀行 西京銀行 本店営業部 受取人口座 普通 2032668 受取人名 ドク) コクリツコウトウセンモンガツコウキコウホンブ 独) 国立高等専門学校機構本部 依頼人氏名の前には「帰国」を付けてください。 依頼人名例 キコク シュウナン ハナコ 帰国 周南 花子 災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受検生への特別措置については、巻末をご覧ください。

※1 ②調査書の作成が出願期間に間に合わない場合は、令和2年1月31日（金）までに提出してください。

※2 「推薦選抜」に出願し、合格内定とならなかつた者が「帰国子女特別選抜」に出願する場合は、②調査書の再提出及び④検定料の再納入は不要です（①と③は要提出）。

注意 中等教育学校の前期課程を修了又は令和2年3月修了見込みの者は、履修証明書及び成績証明書を提出してください。

4. 出願上の注意事項

(1) 出願書類に事実に反する記載があった場合は、合格させないことがあります。また、合格発表後に判明した場合は、合格を取り消すこと、入学後に判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

(2) 受理した書類及び検定料は返還しません。ただし、検定料については、次の場合は申し出により返還しますので、提出先に速やかにご連絡ください。

① 検定料を納付したが出願しなかつた、又は出願書類が受理されなかつた場合

② 検定料を重複して納付した場合

(3) 入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験

成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用しますのであらかじめご了承ください。

- ① 入学後の教育・指導
- ② 入学料、授業料の免除申請の審査
- ③ 奨学金申請の審査
- ④ 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- ⑤ 同窓会、後援会等の案内

VI. 障がいがある等の入学志願者の事前相談

障がいがある等の理由で、受検上及び修学上の配慮を必要とする者は、期限までに、本校学生課へ相談してください。

相談の期限は、令和元年11月29日（金）です。（期限後に、事故などにより配慮が必要となった者は、速やかに相談してください。）

VII. 選抜日程

区分	選抜日・集合時間	時間	科目等	検査会場
帰国子女 特別選抜	令和2年 2月16日(日) 9:00集合	9:30～10:20	理科	本 校
		10:40～11:30	英語	
		11:50～12:40	数学	
		13:30～14:20	国語	
		14:40～	面接	

VIII. 合格者の発表

合格者の発表日時、方法等は以下のとおりです。

1. 日時

令和2年3月3日（火） 午前10時

2. 方法等

合格者の受検番号を本校校内に掲示するとともに、本校ホームページに掲載します。

また、郵送で、合格者に通知します。

なお、電話等による問い合わせには、一切応じません。

本校ホームページへの掲載は、合格内定発表日から1週間とします。

URL <http://www2.tokuyama.ac.jp/2020/>

IX. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和2年3月16日（月）【必着】までに、入学確約書（合格通知書と併せて送付します。）を提出してください。期限までに提出がない場合は、入学の意志がないものとして取り扱います。

X. 新入生修学指導説明会

入学者を対象に修学指導を行うための説明会を令和2年3月20日（金・祝）13時30分から（受付12時30分から）、本校で実施します。この場で、入学手続きも行うため、入学者は必ず出席してください。説明会の案内及び入学手続きは、合格通知に同封します。

XI. 学力検査成績の開示について

開示を希望する者は、学力検査成績開示申請書（ホームページに掲載）に必要事項を記入のうえ、受検票（コピー不可）を添えて学生課窓口又は郵送で申請してください。開示は、受検者本人からの申請に限ります。

詳細は本校ホームページを参照してください。

URL <http://www.tokuyama.ac.jp/>

徳山工業高等専門学校入学案内

1. 本校の概要

本校は、中学校の卒業生に5年間の一貫した工業技術教育により、「豊かな教養と高度の技術や実践力を身につけた技術者を育成する」ことを目的とした高等教育機関です。

卒業生には「準学士」の称号が与えられます。

また、平成15年度から本校における「設計情報工学」プログラムが、国際的に通用する技術者教育プログラムとして、日本技術者教育認定機構（JABEE）より認定されました。

JABEE認定に関する詳細は、本校ホームページをご覧ください。

URL <http://www.tokuyama.ac.jp>

2. 学習・教育目標並びに本科における具体的到達目標

「世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成」

(A) 「世界に通用する」技術者をめざすために

(A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること

○ 数学・自然科学・基礎工学の科目を修得する

(A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと

○ 国際文化・技術者倫理・日本語・外国語の科目を修得する

○ 自らの目標を定め、外部試験を活用して英語力のステップアップを図る

(B) 「実践力のある」技術者をめざすために

(B1) 情報技術をベースに実体験を通して表現力を身につけること

○ 情報関連・実験の科目を修得する

(B2) 自主性と自立性を養うこと

○ 卒業研究の科目を修得する

(C) 「開発型」技術者をめざすために

(C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること

○ メカトロ技術・情報電子技術・社会環境整備技術のうち、ひとつの分野の定められた科目を修得する

(C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと

○ 創造系の科目を修得する

○ 創造演習発表会、卒業研究発表会などで発表を行う

3. 養成しようとする技術者像

本校では「情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、設計・開発を行う素養をもつ技術者」を養成することをめざしています。

また、本科卒業生のめざす技術者像と到達目標を次のように定めています。

技術者像 「自らの業務における技術的課題を解決できる技術者」

到達目標 「実地経験と具体的な業務に応じた学習により、専門分野の課題に対応できる基本的な素養をもつこと」

4. 学科案内

本校は、次の3学科から構成され、いずれも複合学科です。

各学科の概要は次のとおりです。

機械電気工学科

得意とする複合技術：メカトロ技術

「コンピュータで制御する機械を設計・製作する技術」

現代のあらゆる産業分野で活躍しているさまざまな機械は、そのほとんどがコンピュータで制御されるようになってきました。

本学科では、このようないわゆるメカトロニクス技術に対応できる技術者の養成をめざしており、

そのため、機械の分野ばかりでなく電気・制御・情報に関する知識を修得できるようにカリキュラムが編成されています。

また、実践的で応用力のある技術者を育成するため、低学年から3次元CADによる製図、コンピュータによる演習、自律型ロボットの製作などの実習、さらに各種資格試験にも関連する実践的授業が行われています。

情報電子工学科

得意とする複合技術：情報電子技術

「コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを設計・構築する技術」

近年、コンピュータ技術の応用分野は飛躍的に拡大、多様化してきており、高度情報化社会を担う情報処理技術者が求められています。

本学科では、電子工学分野と情報工学分野をバランスよく学習することにより、コンピュータのハードウェア技術及びソフトウェア技術を身につけ、これらの技術を活かして情報処理システム、通信情報システム、コンピュータ応用機器システムなどの設計・構築、更にはインターネットなどネットワークシステムの設計・構築に従事できる高度なコンピュータシステム技術者をめざします。

土木建築工学科

得意とする複合技術：社会環境整備技術

「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・施工する技術」

人々の安心できる生活を保障する土木工学と建築学の役割は環境問題にも関係しており、今後ますます重要となります。本学科はこの土木工学と建築学の複合・融合を図り、土木技術者と建築技術者、どちらにも対応できるような課程となっています。本学科卒業時に「測量士補」の資格が得られます。また、実務経験3年で「測量士」の資格が得られます。さらに、建築士受験のための指定科目を修得することで、本学科卒業後、「二級建築士」、設計・工事監理に必要な知識・能力を得られる実務経験4年で「一級建築士」の受験資格が得られます。

一般科目

一般科目は、広い視野をもったすぐれた技術者を育てるため、豊かな教養を身につけること及び専門の知識や技術を習得するための学問的基礎を養うことを目的としています。1～5年の全授業時間数の約半数がこれに充てられています。低学年の授業は、一般科目が主となりますが、学年が進むにつれて一般科目は減少し専門科目が増加します。

5. 教育課程

授業科目は、各学科に共通な一般科目と学科ごとに異なる専門科目に分かれて開設されており、所要の科目を5年間で学びます。

詳しくは「教育課程」のページを参考にしてください。

6. 入学時に要する諸経費

区分		金額
入学料		84,600円
授業料（注）	前期分	117,300円
日本スポーツ振興センター掛金	年額	1,550円
学生会入会金		1,000円
学生会費	年額	4,000円
教科書代	（学科により異なる）	約40,000円
体育衣等		約20,000円
実習服等	（機械電気工学科のみ）	約16,000円
製図用具、マイコンボード等	（学科により異なる）	約16,000円
その他		約55,000円

（注）入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。また、高等学校等就学支援金制度の適用があります。（7.（3））

入学料及び授業料の納入について

入学料は、令和2年3月16日（月）までに納めてください。なお、納入済みの入学料は返還しません。

授業料の納入方法については、合格通知に併せて後日通知します。

携帯情報機器の持込みについて

本校では令和2年度より学生個人の携帯情報機器（PC(パソコン)、タブレット端末、スマートフォン等)の持ち込みが正式に許可されます。

授業科目の担当教員の指示・許可のもと、授業ノートやレポートの作成や、学業に必要な情報検索などにPC等を積極的に活用することを推奨しています。そのためのWi-Fi環境*も校内に整備されています。

なお、入学後、学科によっては指定された学年の段階で、所定の仕様を満たしたPC等を準備してください。入学後、授業に必要なPC等の詳細をお知らせする予定です。

※Wi-Fi(ワイファイ)環境:PC等を無線でネットワークに接続してインターネット等を利用するための環境

7. 入学料・授業料減免制度及び奨学金制度

(1) 入学料・授業料減免制度

令和2年度から始まる国の新しい修学支援制度により、一定の家計基準を満たし、学習意欲があると認められる者については、入学料及び授業料が免除もしくは減額されることがあります。

(2) 高等学校等就学支援金制度

全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、国の費用により、学生の授業料に充てる高等学校等就学支援金を創設し、家庭の教育費負担を軽減するものです。

国立高等専門学校（1～3年生）も本制度の対象になっており、授業料の支援として保護者等の課税所得が基準以下の世帯に「就学支援金」が支給されます。

(3) 奨学金制度

学業、人物ともにすぐれ、経済的理由により修学が困難と認められる者に対して、選考のうえ日本学生支援機構や、その他の団体などから奨学金が貸与又は給付されます。

① 日本学生支援機構の奨学生は、中学校在学中に予約採用された者と、入学後あらたに出願して採用される者があります。詳細は日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

② その他の奨学金制度として、「山口県ひとづくり財団」や各自治体などのものがあります。

8. 学寮

(1) 施設

学内に冷暖房完備の学寮「高城寮」（男子定員120名、女子定員31名（外国人留学生を含む））があり、「自立の志が高い人」を受け入れています。充実した生活環境の中で勉学や課外活動にも集中でき、時間を有効に活用した学生生活を過ごすことができます。

(2) 入寮

入寮は書類（場合によっては面接）選考により、「入寮の目的、向学意欲、適性」を確認した上で受け入れを許可しています。

(3) 経費（令和元年度の場合）

寄宿料	月額	700円
食費（1日3食）	月額	約37,200円
寮費（光熱水費等）	月額	7,000円
冷暖房機維持更新費	半期	3,000円
入寮費	入寮時	1,000円
寮生会費	年額	1,500円

9. 学生生活

本校では「自分で考え、行動し、しかも自分の行為に責任をもつ」という自主性の育成に教育の重点をおいています。

(1) 制服について

1～3年生は定められた制服を着用しなければなりません。4年生以上は制服以外の服装で通学してよいが、この場合の服装は本校の学生としての品位をそこなわないものでなければなりません。

(2) 通学について

自転車通学については、許可制になっています。3年生以下の学生は、自動車、自動二輪車及び原動機付自転車（原付バイク）を運転して通学することを原則として禁止しています。また、原則として道路交通法に規定する運転免許の取得を禁止しています。

ただし、4年生以上の学生については、一定の条件を満たした場合にバイク等の通学を許可しています。

10. 構内施設・課外活動

図書館、福祉厚生センター、合宿研修施設、学生食堂のほか、野球場、陸上競技場、体育館、武道場、テニスコート、プールなどの体育関係施設があります。

クラブ（同好会）の詳細については、本校ホームページをご覧ください。

11. 卒業後の進路

年度 学科	28		29		30	
	就職	進学	就職	進学	就職	進学
機械電気工学科	22	10(3)	27	11(5)	24	15(11)
情報電子工学科	28	10(4)	27	12(3)	23	12(11)
土木建築工学科	24	19(11)	29	9(2)	28	15(6)

() は本校専攻科への進学者数で内数

(1) 就職状況

過去3年の就職先は次のとおりです。

[機械電気工学科]

アスラテック、アド・ソー、NOK(3名)、大分キヤノン(2名)、オムロン、鴻池組、三精テクノロジーズ、ジーエス・ユアサ コーポレーション(2名)、JXTGエネルギー、シマノ、新笠戸ドック、SUBARU(3名)、ソニーグローバルマニュファクチャリング & オペレーションズ、武田薬品工業(2名)、中国電力(2名)、中電プラント、千代田化工建設、DMG 森精機(2名)、東ソー(7名)、東ソー・シリカ、東ソー・ハイテック、東洋鋼板(3名)、TOTO(2名)、徳山積水工業、日揮、日新製鋼(2名)、日本電測機、パナソニック(3名)、日立交通テクノロジー(2名)、日立製作所交通システム社、日立ハイテクノロジーズ(3名)、ファナック、富士高压フレキシブルホース、マルハニチロ、三浦工業、水ing、三井化学、三菱ケミカルエンジニアリング、三菱重工業(2名)、三菱電機(2名)、村田機械、メタウォーター(4名)、荏原製作所(2名)、矢崎総業

[情報電子工学科]

アイエムシンクタンク、あさひ製菓、アドウェイズ、NTT コムエンジニアリング(3名)、NTTデータ フロンティア、NTT データ MSE、NTT 東日本グループ、大阪ガス、大阪シーリング印刷、オムロン(2名)、オムロンソーシアルソリューションズ、花王、関西電力、キヤノン(2名)、キヤノンシステムアンドサポート、京セラコミュニケーションシステム、京セラドキュメントソリューションズジャパン、KDDI エンジニアリング、国際ソフトウェア、サントリーブプロダクツ(2名)、JXTG エネルギー、JX エンジニアリング、SUBARU、創夢、ソシオネクスト、ソニーグローバルマニュファクチャリング & オペレーションズ、ダイキン工業(2名)、大晃機械工業、タイムインターメディア、中国電力(2名)、ディスコ、デルタ工業、JR 東海(2名)、東ソー情報システム(6名)、東ソー・ハイテック(2名)、トクヤマ、ナレッジスイート、日本精蠟、日本電測機、NHK、ニプロ、パナソニック システムソリューションズ ジャパン(2名)、パナソニック(2名)、日立プラントメカニクス、富士通(3名)、富士通アプリケーションズ(3名)、富士通エフサス、富士通九州システムサービス、富士通九州ネットワークテクノロジーズ、富士電機、マツダ(2名)、三菱電機(3名)、矢崎総業、独立行政法人国立印刷局(2名)

[土木建築工学科]

あおみ建設、井森工業、宇部建設コンサルタント、エヌ・ティ・ティ・インフラネット(3名)、大林組(2名)、鹿島クレス(2名)、勝井建設、関西熱化学、関門港湾建設、五洋建設(2名)、三洋コンサルタント、サンワホーム、三和建設、シーエム・エンジニアリング(2名)、ジェイアール西日本コンサルタント、JXTG エネルギー、しらい、新技術工営、住友不動産、竹中工務店(2名)、巽設計コンサルタント、中国電力(3名)、JR 東海(3名)、東京ガス(3名)、東京水道

サービス、東ソー、東洋建設、トクヤマ、TOTO、トラバース、NEXCO西日本、日新製鋼、NIPPO、日本精蠟、日本ゼオン、ネストハウス、乃村工藝社(2名)、ピーエス三菱、ベガハウス、前田道路(4名)、三井化学、みらい建設工業、銘建、安成工務店(2名)、安本建設、中国建設弘済会、国土交通省中国地方整備局(3名)、財務省福岡財務支局、山口県、広島市(3名)、岩国市(2名)、周南市(5名)、防府市

(2) 進学状況

卒業後さらに勉学を続けたい人は、大学(3年次編入学)又は高専の専攻科(修業年限2年)に進学することができます。

①大学編入学

高専の卒業生を数多く受け入れる長岡、豊橋両技術科学大学をはじめ、多数の国公立大学が編入学制度を実施しています。

過去3年の編入学先は次のとおりです。

[機械電気工学科]

豊橋技術科学大学、北海道大学、筑波大学、東京大学(2名)、東京工業大学(2名)、東京農工大学、横浜国立大学、三重大学、大阪大学(2名)、広島大学、山口大学(2名)、九州大学、佐賀大学

[情報電子工学科]

筑波大学(4名)、和歌山大学、岡山大学、広島大学(3名)、山口大学(2名)、九州大学(4名)、立命館アジア太平洋大学

[土木建築工学科]

豊橋技術科学大学(2名)、長岡技術科学大学(3名)、千葉大学(5名)、横浜国立大学、三重大学、京都工芸繊維大学、山口大学、九州大学、九州工業大学、熊本大学(3名)、大分大学(3名)、熊本県立大学、玉川大学

②高専の専攻科

専攻科は現在、ほとんどの高専に設置されており、本校にも機械制御工学専攻、情報電子工学専攻、環境建設工学専攻からなる専攻科が設置されています。専攻科を修了し、一定の要件を満たした者には、国の機関である大学改革支援・学位授与機構から「学士」の学位が授与されます。

本校専攻科の過去3年の就職先は次のとおりです。

[機械制御工学専攻]

NOK、オムロン(株)、東ソー

[情報電子工学専攻]

MHI情報システムズ、ディアイティ、東ソー情報システム、ニコン、日立ハイテクノロジー(3名)、ヒロテック、モノリスソフト

[環境建設工学専攻]

宇部興産機械(2名)、大成建設、中電技術コンサルタント、徳本工務店、NEXCO西日本、プランテック、山口県(3名)、広島市、岩国市、下松市、周南市(2名)、防府市(2名)

本校専攻科を終了した者は大学院へ進学する者もいます。過去3年の進学先は次のとおりです。

[機械制御工学専攻]

東北大学大学院(2名)、東京工業大学物質理工学院、九州工業大学大学院(3名)、早稲田大学大学院

[情報電子工学専攻]

東京工業大学情報理工学院、筑波大学大学院(3名)、北陸先端科学技術大学院大学、奈良先端科学技術大学院大学(3名)、九州大学大学院、早稲田大学大学院

[環境建設工学専攻]

東京大学大学院、愛媛大学大学院、山口大学大学院、九州大学大学院(2名)、熊本大学大学院(2名)

教育課程（平成31年・令和元年度の教育課程に基づくものであり、今後、一部変更する場合があります。）

一般科目

※印は学則第14条第2項に定める単位を示す。

授業科目	単位数	学年別単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	5年	
国語総合Ⅰ	4	4					
国語総合Ⅱ	4		2	2			
歴史	4	2	2				
倫理	2		2				
政治・経済	2	2					
哲学	2			2			
数学ⅠA	3	3					
数学ⅠB	3	3					
数学ⅡA	3		3				
数学ⅡB	3		3				
数学ⅢA	2			2			
数学ⅢB	2			2			
※微分積分学Ⅰ	1				1		
※微分積分学Ⅱ	1				1		
※ベクトル解析	1				1	ME, IE	
※線形代数	1				1	CA	
生物基礎	2	2					
物理基礎	1	1					
物理Ⅰ	2		2				
物理Ⅱ	2			2			
※応用物理	2				2		
化学基礎	2	2					
化学Ⅰ	1		1				
化学Ⅱ	1		1				
体育	8	2	2	2	2		
保健	1	1					
芸術	2		2				
基礎英語	3	3					
総合英語Ⅰ	4		4				
総合英語Ⅱ	3			3			
総合英語演習Ⅰ	2				2		
総合英語演習Ⅱ	1					1	
英会話	3		1	1	1		
履修単位計	77	25	25	16	10	9	2
人文・社会							
日本語コミュニケーション	1				1		
中国文学	1				1		
歴史	1				1		
心理学	1				1		
人文社会特講	2				1	1	
外国語							
ドイツ語	3				2	1	
英語特別演習	1					1	
中国語	3				2	1	
自然科学							
※生物学	1				1		
※物理化学	1				1		
※自然科学特講	1				1		
※応用解析学概論	3				3		
※応用数物演習	1					1	
開設単位計	20				13	7	
履修単位計	5				3	2	
履修単位合計	82	25	25	16	13	3	ME, IE
特別活動	3	1	1	1	12	4	CA

ME: 機械電気工学科 IE: 情報電子工学科 CA: 土木建築工学科

機械電気工学科

授業科目	単位数	学年別単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	5年	
工作実習Ⅰ	2	2					
工作実習Ⅱ	2		2				当該学年までに修得
工学実験Ⅰ	1			1			
工学セミナー	1				1		
電気回路Ⅰ	1			1			
電子回路Ⅰ	2			2			
※電磁気学	2				2		卒業までに修得
材料力学Ⅰ	1			1			
水力学Ⅰ	1			1			
※熱力学	2				2		
※工学実験Ⅱ	3				3		
卒業研究	8					8	
履修単位計	26	2	2	6	8	8	
機械の基礎	1	1					
電気の基礎	1	1					
技術発達史	1	1					
知的財産権	1			1			
※技術者倫理Ⅰ	1				1		
工業英語Ⅰ	1			1			
※工業英語Ⅱ	1				1		
※関数論	1				1		
※確率・統計	1				1		
※フーリエ変換	1				1		
コンピュータ基礎	1	1					
プログラミング基礎	2		2				
プログラミング応用	1			1			
※数値計算Ⅰ	1					1	
※電気回路Ⅱ	1				1		
※電子回路Ⅱ	1				1		
アクチュエータⅠ	1			1			
※制御工学Ⅰ	1			1			
※制御工学Ⅱ	2				2		
※計測工学	2				2		
加工工学	1		1				
機構学	1			1			
工業力学Ⅰ	1			1			
※機械力学Ⅰ	1				1		
※機械力学Ⅱ	1					1	
※計算力学Ⅰ	1					1	
材料学Ⅰ	2			2			
※材料学Ⅱ	1				1		
※材料力学Ⅱ	2				2		
※弾塑性論	1					1	
※水力学Ⅱ	1				1		
※熱機関	1					1	
※機械設計論Ⅰ	2				2		
※機械設計論Ⅱ	1					1	
基礎設計製図Ⅰ	2	2					
基礎設計製図Ⅱ	2		2				
設計製図Ⅰ	1			1			
※設計製図Ⅱ	1				1		
※設計製図Ⅲ	1					1	
創造演習Ⅰ	1	1					
創造演習Ⅱ	1			1			
創造製作Ⅰ	2		2				
コンピュータ制御	2			2			
※創造製作Ⅱ	2				2		
履修単位計	55	7	7	12	15	14	
総合実地演習Ⅰ	1	1		1			
総合実地演習Ⅱ	2		2				
校外実習Ⅰ	1				1		
校外実習Ⅱ	2				2		
※環境リサイクル論	1					1	
※一般物理	1					1	
※機能材料	1					1	
※ターボ機械	1					1	
※伝熱工学	1					1	
※有限要素法	1					1	
※流体力学	1					1	
※ベンチャービジネス論	1					1	
特別講義Ⅰ	1					1	
特別講義Ⅱ	1					1	
開設単位計	16		3		3	10	
履修単位計	5					5	
履修単位合計	86	9	9	18	23	27	
一般科目履修単位合計	82	25	25	16	13	3	
専門科目履修単位合計	86	9	9	18	23	27	
合計	168	34	34	34	36	30	

選択科目

情報電子工学科

授業科目	単位数	学年別単位数					備考
		1年	2年	3年	4年	5年	
基礎電気回路	2	2					卒業までに修得
基礎コンピュータ工学	2	2					
コンピュータの基礎知識	1	1					
基礎プログラミング	3	3					
電子工学実験	4		4				
※コンピュータシステム実験	4			4			
※創造演習	1			1			
※創造製作	1				1		
卒業研究	10					10	
履修単位数計	28	8		4	5	11	
電気数学	1		1				卒業までに修得
集合と論理	1		1				
知的財産論	1		1				
情報数学	2		2				
※フーリエ・ラプラス変換	1			1			
確率	1		1				
※統計学	1				1		
※情報理論	2			2			
※デジタル信号処理	1				1		
電気磁気学	2			2			
※数値解析	1				1		
※社会情報システム	1			1			
電気回路	2		2				
計測工学	2			2			
アナログ回路	2			2			
デジタル回路	2			2			
※情報通信工学	2				2		
※デジタル回路応用	1				1		
コンピュータ演習	1	1					
コンピュータ工学	2		2				
プログラミング	2		2				
プログラミング言語	1		1				
コンピュータシステム概論	1			1			
アルゴリズムとデータ構造	2			2			
システムプログラミングⅠ	1			1			
※システムプログラミングⅡ	1				1		
コンピュータアーキテクチャ	2			2			
※ソフトウェア工学	2			2			
※データベース	2			2			
※オペレーティングシステムⅠ	1			1			
※オペレーティングシステムⅡ	1				1		
※ネットワークアーキテクチャ	2				2		
工学セミナー	1			1			
※英語講義	2				2		
特別講義	1				1		
履修単位数計	51	1	9	14	18	9	
※電子通信システム実験	2				2	このうちどちらかを必ず修得	
※情報システム実験	2				2		
開設単位数計	4				4		
履修単位数計	2				2		
※集積回路設計	2				2		
※画像工学	2				2		
※言語処理	2				2		
※オブジェクト指向プログラミング	1				1		
※コンピュータグラフィックス	2				2		
※知的情報処理	2				2		
※システム数理工学	2				2		
校外実習Ⅰ	1			1			
校外実習Ⅱ	2			2			
開設単位数計	16			3	13		
履修単位数計	5				5		
履修単位数計	86	9	9	18	23	27	
一般科目履修単位数合計	82	25	25	16	13	3	
専門科目履修単位数合計	86	9	9	18	23	27	
合計	168	34	34	34	36	30	

土木建築工学科

授業科目	単位数	学年別単位数					備考	
		1年	2年	3年	4年	5年		
測量実習	4		2	2			3学年までに修得	
工学デザイン基礎Ⅰ	2	2						
工学デザイン基礎Ⅱ	2		2					
工学デザイン基礎Ⅲ	2			2				
基礎工学実験	2			2				
力と変形	1	1						
構造力学基礎	4		1	3				
※技術者倫理	1					1		
※工学デザインⅠ	2				2			
※工学デザインⅡ	2					2		
※創造演習	2				1	1		
※工学実験Ⅰ	1				1			
※工学実験Ⅱ	1					1		
卒業研究	8					8		
履修単位数計	34	3	5	9	4	13		
※構造力学	2				2		卒業までに修得	
建築一般構造	1			1				
鉄筋コンクリート工学	2				2			
プレストレストコンクリート工学	1					1		
鋼構造学Ⅰ	1				1			
振動工学	1					1		
※建築構造設計	2					2		
地盤工学基礎	2			2				
地盤工学	2				2			
※基礎構造学	1					1		
道路工学Ⅰ	1				1			
水理学基礎	2			2				
※環境衛生工学	1					1		
建設材料	1	1						
※建設先端材料	1					1		
西洋建築史	1		1					
建築デザイン概論	1	1						
建築計画Ⅰ	2			2				
都市計画Ⅱ	2				2			
※建築環境工学	1					1		
※建設マネジメント	1					1		
情報処理Ⅴ	5	2	1	2				
CAD基礎	1			1				
CAD応用	1				1			
※確率・統計	1					1		
測量学Ⅰ	2	2						
測量学Ⅱ	2		2					
※測量学Ⅲ	1					1		
測量学特論	1					1		
履修単位数計	43	6	4	10	15	8		
※道路工学Ⅱ	1					1		卒業までに修得
※鋼構造学Ⅱ	1					1		
※鋼構造学Ⅲ	1					1		
※応用プログラミング	1					1		
水理学	2				2			
※河海工学Ⅰ	1					1		
※河海工学Ⅱ	1					1		
※火薬学	1					1		
※建築材料	1					1		
※建築計画Ⅱ	2				2			
※日本建築史	1					1		
※近代建築史	1					1		
※建築環境工学演習	1					1		
※建築設備	2					2		
※土木法規Ⅰ	1					1		
※建築法規Ⅰ	1					1		
※土木施工法	1					1		
※建築施工法	1					1		
特別講義	1					1		
工学セミナー	1					1		
校外実習Ⅰ	1	1						
校外実習Ⅱ	2					2		
開設単位数計	26					12		
履修単位数計	9					4		
履修単位数合計	86	9	9	19	23	26		
一般科目履修単位数合計	82	25	25	16	12	4		
専門科目履修単位数合計	86	9	9	19	23	26		
合計	168	34	34	35	35	30		

入学検定料をゆうちょ銀行から振り込む場合の注意点

入学検定料はゆうちょ銀行からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。
- 2) 振込後は「振込依頼書（兼振替払請求書〔電信扱い〕（お客さま控）」を受領し、入学願書の裏面に貼付してください。

災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受検生への特別措置について

入学志願者のその主たる家計支持者が令和元年度に災害救助法適用地域に居住していて被災された場合には、検定料免除申請書に必要書類を添えて提出することで入学検定料が免除されます。

詳細は高専機構ホームページを参照してください。 URL <http://www.kosen-k.go.jp/>

高等専門学校への進学を考えている生徒の皆さんへ

日本学生支援機構の奨学金 (J A S S O)

「学びたい」という意欲をもつ学生を応援する奨学金制度

奨学金は、「学びたい」という意欲と能力のある学生が、
経済的な面で心配することなく安心して学べるよう貸与するものです。

● 奨学金の種類と金額

利息のかからない奨学金（第一種奨学金）です。

【奨学金の貸与月額】

「進学先の国公立・私立の別や通学の仕方により定められた金額」または「10,000円」

国・公立		私立	
自宅	自宅外	自宅	自宅外
21,000円	22,500円	32,000円	35,000円
10,000円			

(2020年度入学者の場合)



● 申込方法

- ① 現在通っている中学校から、申込関係書類一式を受け取ってください。
- ② 受け取った申込関係書類を読み、申込みに必要な書類をととのえ、現在通っている中学校で決められた期限までに中学校へ提出してください。



募集開始：2019年10月上旬頃

● 申込資格

2020年4月に高等専門学校に進学する予定の中学校等の3年生で、JASSOの定める学力・人物・家計の基準を満たす人が申し込みます。

※ この申込みによって、高等学校の奨学金を受給することはできません。

● 貸与を受けた奨学金は、卒業後に返還します

奨学金はあなた自身が「借りる」ものであり、卒業してからあなた自身が「返す」ものです。返還中、病気や失業等で返還が困難になったときは、返還を先送りする等の救済制度があります。

JASSOのホームページもご覧ください

奨学金 で検索

奨学金 > 申込方法 > 予約採用 > 予約採用の申込み > 高等専門学校に進学する前に申込み



(2019.4)